

令和7年度 岐阜女子大学大学院（通信教育課程） 科目等履修生 上級デジタルアーキビスト資格取得 課程履修コース 募 集 要 項

1. 目的

上級デジタルアーキビスト資格取得のための学修の機会を提供することを目的とします。
(上級デジタルアーキビストとは、日本デジタルアーキビスト資格認定機構が認定する資格です。)

2. 入学資格 (性別は問わず、次のいずれかに該当する人)

- ① 大学を卒業した人。(卒業見込みの人を含む。)
- ② ①以外で22歳以上かつ3年以上の社会経験を有する人 … 入学資格事前審査が必要
(詳細は7頁参照。)

3. 開講科目

上級デジタルアーキビスト資格取得には開講科目 10 科目:20 単位の履修が必要です。

科目名	単位数	授業担当者	履修方法
デジタルアーカイブ特講Ⅰ ～ナレッジマネジメント(知的創造)～	2	教授 後藤 忠彦 准教授 櫛 彩見	T
デジタルアーカイブ特講Ⅱ ～デジタルアーカイブ研究論～	2	教授 久世 均 准教授 櫛 彩見	T
デジタルアーカイブ特講Ⅲ～メディア論～	2	准教授 江添 誠 特任教授 井上 透	T
地域文化特講	2	教授 谷 里佐 准教授 加藤 真由美	T
デジタルアーカイブ文化政策特講	2	准教授 江添 誠 特任教授 井上 透 特任教授 時実 象一	T
文化メディア演習	2	教授 谷 里佐 准教授 加治工 尚子	T・S
デジタルアーカイブ演習	2	准教授 加藤 真由美 准教授 熊崎 康文	T・S
文化情報管理特講 ～知的財産権等権利処理～	2	特任教授 吉川 晃 特任教授 坂井 知志	T
アーカイブ研究Ⅱ～MLA資料研究～	2	准教授 江添 誠 特任教授 井上 透 特任教授 原田 隆史	T・S
アーカイブ研究Ⅲ ～オーラルヒストリー研究～	2	教授 谷 里佐 准教授 加治工 尚子	T・S

Tはテキスト授業、Sはスクーリング授業を示す。

4. 入学選考

書類審査により行います。

5. 入学時期

4月入学

6. 履修期間・方法

履修期間 1年(最長2年まで)で、10科目(20単位)を履修。

※ 1年以内に履修が完了しなかった場合は、所定の手続きを行っていただければ、2年目も引き続き履修することができます。

7. 授業料

247,000円(入学検定料・入学金・授業料を含む)

入学許可後、所定の期限(3/21)までに授業料を一括納入。(分割での納入は行っていません。)

※ 上級デジタルアーキビストの認定試験料(2万円)は含まれません。

※ スクーリングの交通費・宿泊費等は自己負担となります。

8. 申込方法

- ① 課程履修生願
- ② 履歴書(写真貼付)
- ③ 卒業証明書又は修了証明書(事前審査合格の人は、③は不要。)
- ④ 住民票(発行から6カ月以内)

上記①~④を、『岐阜女子大学大学院 通信教育事務室』まで、原本をお送りください。

送付先

〒500-8813

岐阜市明德町10番地 杉山ビル4階

岐阜女子大学大学院 通信教育事務室

封筒の表に「通信制大学院 課程履修生 申込書在中」と朱書してください。

9. 募集期間

出願受付期間	令和7年1月10日(金)~令和7年2月20日(木)
出願締切日 (消印有効)	令和7年2月20日(木)
合否通知	令和7年3月6日(木)までに送付
	郵送で結果をお知らせします。
学費納入期間	令和7年3月21日(金)まで

10. 入学手続書類

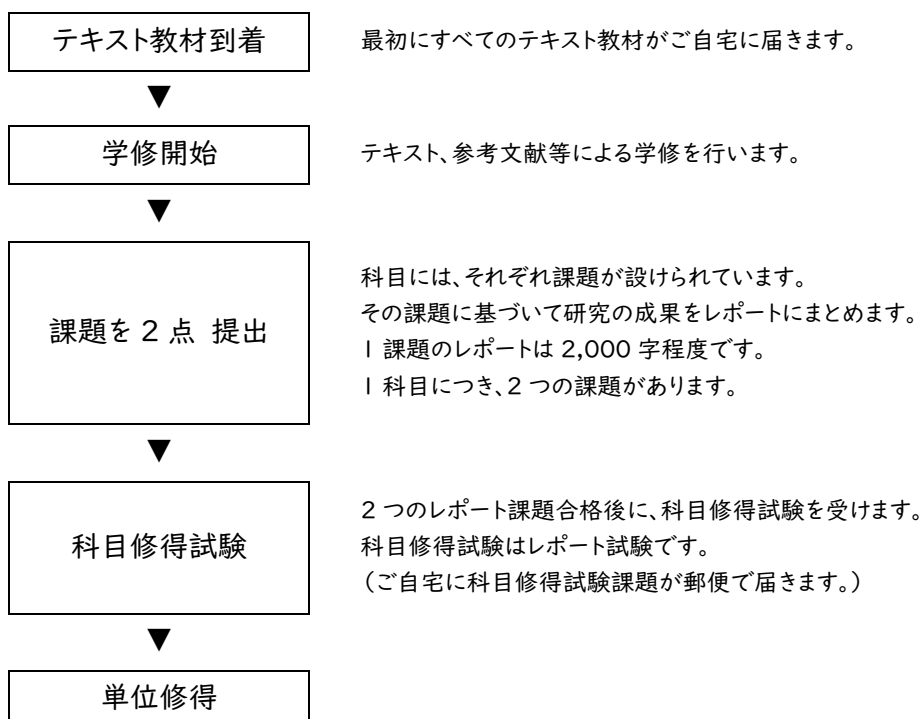
- ◆ 課程履修生原簿(写真貼付)
- ◆ 身分証明書用 写真データ

提出完了後、本学大学院(通信教育課程)課程履修生としての身分が認められます。

11. 学修スケジュール・学修の進め方

● T:テキスト履修

	テキスト教材到着	4月中旬～下旬
前期	課題(2課題)提出期間(必着)	7/1～7/15
	採点期間	7/15～7/31
	課題(2課題)採点結果通知	8月初旬
	科目修得試験課題 提出期間(必着)	8/15～8/30
	採点期間	9月初旬
	成績表 発送	9月下旬
後期	課題(2課題)提出期間(必着)	1/5～1/20
	採点期間	1/21～1/31
	課題(2課題) 採点結果通知	2月初旬
	科目修得試験課題 提出期間(必着)	2/15～2/28
	採点期間	3月初旬
	成績表 発送	3月下旬



テキスト履修科目6科目の課題の提出学期(前期・後期)に指定はございません。

(例:前期4科目、後期2科目等 組み合わせは自由です。)

● T・S:テキスト・スクーリング履修

スクーリング日程について

科目名	日程	会場
文化メディア演習	① 令和7年6月1日(日) ③ 令和7年5月4日(日)	① 文化情報研究センター ③ 沖縄サテライトキャンパス ※I
デジタルアーカイブ演習	② 令和7年5月31日(土) ③ 令和7年5月5日(月・祝)	② 岐阜女子大学 本部 ③ 沖縄サテライトキャンパス ※I
アーカイブ研究Ⅱ ～MLA資料研究～	令和7年7月20日(日) 令和7年7月21日(月・祝) ※2日間の出席が必要です。	zoom
アーカイブ研究Ⅲ ～オーラルヒストリー研究～	①③ 令和7年11月15日(土)	① 文化情報研究センター ③ 沖縄サテライトキャンパス ※I

スクーリング科目はスクーリングの出席が必須です。

2日間開講の場合は2日間とも出席してください。

【会場】① 岐阜女子大学 サテライトキャンパス 文化情報研究センター

〒500-8813 岐阜県岐阜市明德町10番地 杉山ビル

② 岐阜女子大学 本部

〒501-2592 岐阜県岐阜市太郎丸80番地

③ 岐阜女子大学 沖縄サテライトキャンパス

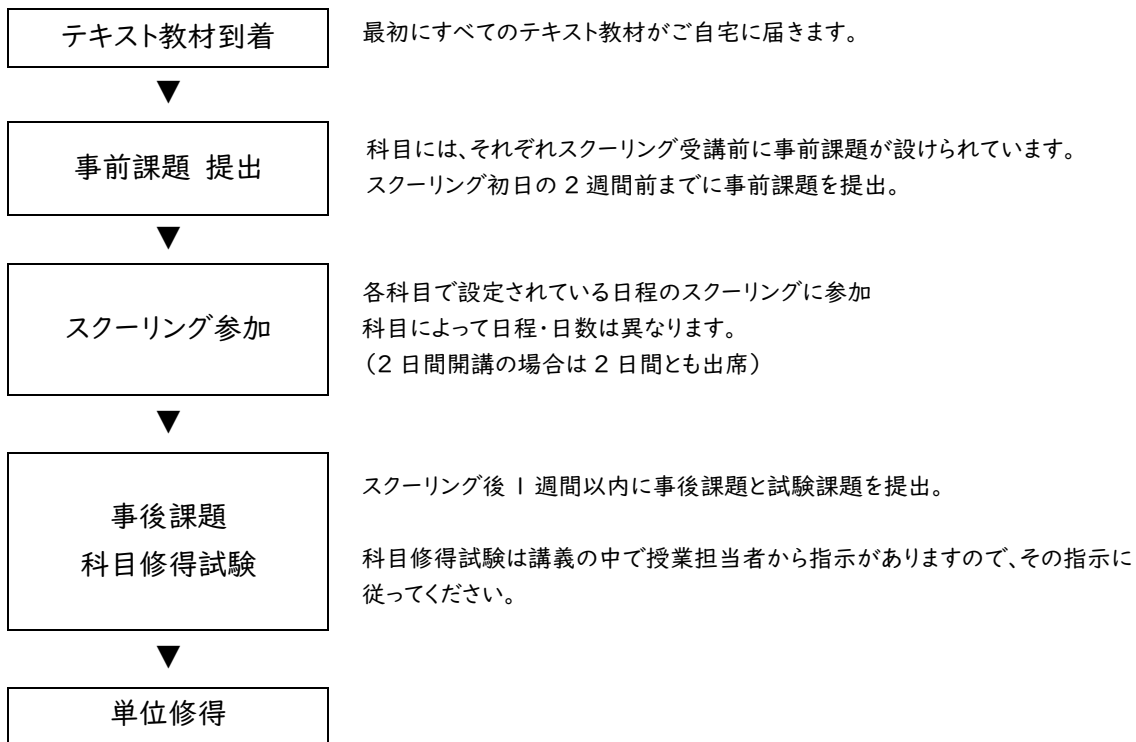
〒901-1304 沖縄県島尻郡与那原町東浜1番地 沖縄女子短期大学内

※I 沖縄会場は令和7年度のみ開講(令和8年度は沖縄での開催はございません。)

【注意事項】

- ① 講師または、その他やむを得ない事情により日程等が変更になることがあります。
(変更の場合は事前に連絡いたします。)
- ② スクーリングは現地集合・現地解散になります。
- ③ 交通費・宿泊費等については自己負担になります。

テキスト教材到着	4月中旬～下旬
事前課題 提出期間(必着)	スクーリング初日の2週間前までに提出
採点期間	提出後2週間程度で採点
事前課題 採点結果通知	採点が終わり次第、順次、郵送
スクーリングを受講	
事後課題・試験課題 提出期間	スクーリング後、約1週間以内に提出
成績表 発送	前期:9月下旬、後期:3月下旬



12. 課程履修生 修了後の流れ【上級デジタルアーキビスト資格申請】

1. 資格申請書類 作成

10科目(20単位)修得後に、上級デジタルアーキビスト資格申請に必要な書類を岐阜女子大学から送付します。

3月下旬頃

2. 資格申請書類提出・認定試験料(2万円)振込

- ・申請に必要な書類を岐阜女子大学に提出
- ・認定試験料(2万円)を岐阜女子大学に振込
(認定試験料は別途必要です。授業料に含まれていません。)

4月下旬まで

3. 上級デジタルアーキビスト資格取得

日本デジタルアーキビスト資格認定機構から自宅に「認定証」が届きます。

5月下旬頃

※ 日本デジタルアーキビスト資格認定機構に個人で資格申請は出来ません。
大学で一括申請を行います。

13. 開講科目の概要

1 科目:2 単位

授業科目名	履修方法	概要
デジタルアーカイブ特講Ⅰ ～ナレッジマネジメント(知的創造)～ 授業担当:後藤忠彦・櫛彩見	T	デジタルアーカイブは、知的財産として過去から現代までのあらゆるデータを保管して次の世代へ伝承するとともに、国内外で流通し活用することで、知的生産を支える知識基盤社会を構成する。そこでデジタルアーカイブの活用について、提示や知的処理などの役割や課題を理解し、知の増殖型サイクルについて考察する。
デジタルアーカイブ特講Ⅱ ～デジタルアーカイブ研究論～ 授業担当:久世均・櫛彩見	T	知識基盤社会において、デジタルアーカイブについて責任をもって実践できる専門職であるデジタルアーキビストが必要とされている。そこで、デジタルアーキビストの学術的な基礎として、デジタルアーカイブに関する歴史から我が国の動向並びにデジタルアーカイブの課題を学ぶ。
デジタルアーカイブ特講Ⅲ～メディア論～ 授業担当:江添誠・井上透	T	公文書の収集、保存、管理、利用を主たる目的として始まったアーカイブズは、その規模と対象が広がった。それぞれのアーカイブは独立して存在するのではなく、連携し情報の集合体・知識基盤としての様相を強めてきた。そこで、集合体としてのアーカイブ及び、いわゆる組織アーカイブや収集アーカイブに関して、メディア論の視点から、文化、教育、自治体、産業を考察する。
地域文化特講 授業担当:谷里佐・加藤真由美	T	地域文化のデジタルアーカイブについて、文化の理解、撮影記録、保存(保管)、活用などの各プロセスの概要を理解し、撮影方法や機材、記述のためのメタデータについて実践に即して考察する。最終的に身近な地域文化のデジタルアーカイブなどへの適用方法について学修する。
デジタルアーカイブ文化政策特講 授業担当:江添誠・井上透・時実象一	T	デジタルアーカイブ化の対象となる文化的価値の評価、デジタル保存・管理のための技術、法と倫理などの基本的な理論について国内外の事例を通じて修得する。また、最新のデジタルアーカイブ化に関する世界的動向と研究動向について調査し理解する。各省庁の資料、閣議決定等を参考に著作権法や「デジタルアーカイブ整備推進法」等法制度整備の方向性を理解し、考察する。
文化メディア演習 授業担当:谷里佐・加治工尚子	T・S	文化情報には、文化財、文化活動など、有形のモノから無形のモノまで多種多様であり、またそれらを固定する媒体も、静止画、動画、アニメーションなど様々である。そこで、それら各種メディアの特性を理解し、総合的な文化情報の管理、流通を行うための、撮影方法や処理方法について演習を行う。
デジタルアーカイブ演習 授業担当:加藤真由美・熊崎康文	T・S	文化財・地域の文化活動など、文化に関する情報の記録・デジタル化・データベース制作およびメタデータとしての情報カテゴリーの構成、シソーラスなど、文化情報の管理・流通に関する演習を実践例をもとに行う。さらに、岐阜女子大学文化情報研究センターで管理されている国内外の文化情報を用いた高度なデジタルアーカイブ化、及びドローンを理解し利用したデジタルアーカイブのスキルを身につける。
文化情報管理特講 ～知的財産権等権利処理～ 授業担当:吉川晃・坂井知志	T	知的財産権等権利処理について、デジタルアーカイブ研究開発の側面から実践的な開発事例を通じて解説する。基本的な理解を踏まえ著作権、肖像権、プライバシー保護等のデジタルアーカイブに関わる権利処理の最新の動向を理解し、実践力を習得させる。それらをめぐる政策的課題を解説し、法制度等解決可能性を考察する。
アーカイブ研究Ⅱ～MLA資料研究～ 授業担当:江添誠・井上透・原田隆史	T・S	図書館、博物館、公文書館等デジタルアーカイブ提供機関において、対象資料の文化的価値の評価、デジタル保存・管理のための技術、著作権、肖像権、個人情報保護、プライバシー等に係る権利処理や倫理への対応など基本的な処理がどのように行われているかについて国内外の事例を通じて研究する。併せて、デジタルアーカイブ提供に関する国際的動向について調査研究し理解する。
アーカイブ研究Ⅲ ～オーラルヒストリー研究～ 授業担当:谷里佐・加治工尚子	T・S	オーラル・ヒストリーの歴史的背景と意義を理解し、各種事例からオーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブ化のための記録プロセスとその留意点について学修する。最終的に、オーラル・ヒストリーのデジタルアーカイブ化の実践として話の記録およびコンテンツ化について演習を行う。

14. 事前審査

(1) 対象者

入学資格②により、出願しようとする人

(出願資格①以外の方は、出願資格の有無についての事前審査を行います。)

(2) 資格審査のための申請期間及び資格審査結果通知日

申請期間	令和7年1月10日(金)～ 令和7年1月17日(金)
結果の通知	令和7年1月24日(金)までに

(3) 申請書類・・・事前審査希望者は書類(①②)を別途郵送いたしますので 事務室(電話:058-212-3257)までご連絡願います。

① 出願資格認定審査願書

② 履歴書(事前審査用)

③ 卒業証明書又は修了証明書

④ 実務(社会人)経験歴・実務経験内容、資格取得等を証明する書類

※ 社会における実務経験の期間及び内容を証明できるものや取得した資格の証明書及びそれらに関する書類

※ 証明書を添付できない場合は、大学卒業と同等以上の学力があると判断する理由を記入したもの(書式不問)

(4) 申請書類提出先

〒500-8813

岐阜市明德町10番地 杉山ビル4階

岐阜女子大学大学院 通信教育事務室 宛

提出は郵送のみとなります。

封筒の表に「通信制大学院 課程履修生 事前審査書類在中」と朱書してください。

事前審査に合格した方は、募集期間内に必要な書類をご提出ください。

(詳細は2頁参照。)

岐阜女子大学大学院 通信教育事務室

〒500-8813

岐阜県岐阜市明德町 10 番地 杉山ビル 4 階

電話：058-212-3257

FAX：058-212-3258

E-メール：tsushin@gijodai.ac.jp